

病院市場で外資参入が加速

ベトナム人の健康に対する意識は高くなりつつある。2012年の医療費用は国内で98億ドルに達し、薬品の23.4億ドルに加え、合計121.4億ドルとなった。

年間の1人当たりの医療費用は2008年の76ドルから2012年には110ドルまで増加した。GDP比約7%程度で、フィリピン4.5%、マレーシア4.3%、タイ3.3%、インドネシア2.8%と比較して高いが、1人当たりの金額では下回っている。毎年、約3万人が海外に行き合計5~10億ドル相当の治療を受けている。国内では、公立病院は患者が溢れており、より良いサービスを求め私立の病院への利用が増えている。

病院当たりベッド数

年	病院数		ベッド数 (万床)		病院当たりベッド数	
	公立	私立	公立	私立	公立	私立
2008	974	83	15.18	0.54	156	65
2010	1,030	102	17.66	0.71	171	70
2011	1,040	N/A	19.55	N/A	188	N/A

資料：ベトナム統計総局

ベトナムの病院はまだ質も数も不足している。全国で病院数は約1,000、約20万床に過ぎず、稼働率は2011年には111.6%で高い。なお、1床当たりの医療費は7,000ドルである(2010年)。近代的な設備を備え、富裕層患者への高品質サービスを売りに私院が増加してきたが、小規模で都市に集中している。政府は2010年までに1万人当たりの私立2床を目標にしていたが、直近で0.7床に留まり、2020年目標の5床には遠い、一層の投資優遇対策が必要だ。

WTO加入5年を経て100%外資病院は6院となる、9,400万ドルが投資された。全体的にはホーチミンで私立や外資病院の進出が多い。2003年に設立されたFV病院は外資100%であり、最も売上が大きい。幅広い専門性を誇っていたが、最近となって医療事故への不適切な対応で評判を落とした。

Hoan Myは、元々個人医師がホーチミンで1997年に設立したHoan My Clinicがファンドの投資を受け、その後2011年にFortis Healthcare Group(インド)となった。現在、6病院、2クリニック、乳がんセンター、医療機器販売会社から成り、2010年の売上は2,380万ドル。ホーチミンのForis Hoan My病院は投資額3,365万ドル、ベッド数200床と最大規模で、1日約2,000人の患者を受け入れられる。同グループの従業員約2,000人のうち約400人が医師である。医利大学も設立予定。

ハノイで最初の外資病院であるFV病院は、公立のBach Mai病院とオーストラリア企業のJVで1997年に設立された。2000年にフランス企業に買収され、100%フランス資本の病院となった。68床と小さい



が、売上はハノイでもっとも高い。2006年には外来クリニックも設立した。主に初期診療を行い、重症患者では病院とも連携する。医療サービスの質、患者対応で評価が高い。

最近では2012年にVin GroupがハノイにVINMEC病院を設立し、最新設備に加えてホテルのようなサービスで今後の成長が注目される。

今年もシンガポールやドイツからの大型の病院投資が伝えられている。病院は投資額が大きく、最初の5年間程は赤字が続くとされているが、ここに来て投資家の関心が急速に高まっているようだ。

主な私立病院

病院名	資金	設立年	住所	2010年売上 (百万ドル)	ベッド 数	ベッド当たり売 上(万ドル)
フランスベトナム病院 (FV)	フランス、スイス、ベルギー	2003	ホーチミン	28.5	220	13
ホアンミー	JV (インド、ベトナム)	1997	ホーチミン	23.8	700	3.4
ハノイフレンチホスピタル	フランス	1997	ハノイ	14.4	68	21
ヴァン・ハン	ベトナム	2000	ホーチミン	11.3	150	7.5
アンシン	ベトナム	2006	ホーチミン	10.8	150	7.2

資料：Stoxplus